

# 研究実施のお知らせ

2022年6月14日 ver.1.1

## 研究課題名

妊娠悪阻の治療でクロルプロマジンを必要とした妊婦の予後に関する検討

## 研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院において2016年10月から2021年9月に出産した方のうち、妊娠悪阻の診断加療された方。

## 研究の目的・意義

妊娠悪阻（つわり）は多くの妊婦さんが罹患する疾患です。症状が増悪すると最も重篤な場合多臓器不全などの合併症を生じてしまいます。一般的には補液やビタミン剤、制吐剤投与をおこない加療しますが、クロルプロマジン（コントミン）の投与により症状が改善するという報告も散見されます。当科では悪阻症状が持続する患者さんにクロルプロマジンを処方し内服していただくことがあります。内服された患者さんのなかにはその後精神的なケアが必要になる方がおられるため、予後を検討することで今後同様の症状を訴える患者さんに対し医学的ケアを強化することで安心して出産ができるように管理できると考えています。

## 研究の方法

上記対象の方のカルテから収集した診療情報を調査します。個人情報には氏名、カルテ番号

を削除して使用します。

調査項目は下記の通りです。

- 1) 母体年齢
- 2) 母体の精神疾患既往の有無
- 3) クロルプロマジンの内服の有無
- 4) クロルプロマジンの内服期間
- 5) 産後のエジンバラ質問票の点数
- 6) 精神科介入の有無

### 研究の期間

2022年6月から2022年12月31日まで

### 研究組織

この研究は島根大学医学部産科婦人科学講座が行います。

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年6月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：京 哲

事務局：皆本敏子

島根大学医学部産科婦人科学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2269 FAX 0853-20-2264